トランプ氏とか言う器用貧乏：器用貧乏である事の価値（数学的コンビネーション）

器用貧乏とは、色んな事がある程度出来るがどれも得意では無いと言う意味で、一般的にはあまり良い意味では使われていません。

アメリカ大統領候補のドナルド・トランプ氏も、特に突出した能力やスキルは無く、どれも卒なくこなす器用貧乏と称される事がありますが、木を見て森を見ず。ある程度の能力とスキルが多数あれば、その数学的なコンビネーションはとてつもなく大きくなるのです。

頭の良さ、ビジネス知識、プレゼン能力、説得力、打たれ強さ、ユーモアセンス。どれも卒なく備え、こなしていると言う事がトランプ氏を巨大なカリスマにしていると言っても過言ではありません。

それはまるでブレーメンの音楽隊のように。単体で見たら小さな力も、それが合わさり、一つになれば、それはお化けのような大きな集合体にもなり得るのです。

「強みを見つけて、それを徹底的に伸ばせ」と言う発言を聞いた事がある方もいらっしゃるでしょう。

しかし、器用貧乏、多様なスキルや能力を持っていると言う事も一つの莫大な強みです。

ですから、あなたがもし飽きっぽかったり、器用貧乏と呼ばれるような人間だったり、特に秀でた能力やスキルが無くても、ある程度の努力で誰しも、ありとあらゆる能力やスキルをそこそこのレベルまで到達させる事は出来ます。そして、ありとあらゆる能力スキルを身に付けた時、それらのコンビネーションがあなたの価値を大きく高める事になるかもしれません。

